

検査の予習

どう違うの???

CTとMRI

体内を透視して画像診断を行う「CT」と「MRI」。どちらもスライド式のベッドにあおむけに寝て、トンネル状の機器の中に入って検査を受けます。一見同じに見える検査機器ですが、体内を透視するしくみが異なります。

CTではX線を体のさまざまな方向から照射して、横断面を画像化します。MRIでは強力な磁石で体に磁気を当てて、それに対する体内の水素原子の反応を画像化します。画像の描画方法が異なるため、それぞれ得手不得手があり、検査の目的によって使い分けられます。

短時間の検査で済むCTは出血を伴う緊急時の診断や骨の病気の発見に活躍します。一方、MRIは筋肉やじん帯、血管など骨以外の部分の撮影が得意なため、椎間板ヘルニアや脳梗塞などの病気の診断に用いられます。また、血管の様子をさらに詳しく調べる場合には、MRIと同じ装置を使ったMRAによる立体画像診断が行われます。

検査を受ける場合は医師の説明を受け、それぞれの特徴を理解したうえで臨みましょう。

強力な磁石が埋め込まれたトンネル

X線装置が組み込まれたトンネル

MRI

Magnetic Resonance Imaging
(磁気共鳴画像法)

MRA
Magnetic Resonance Angiography
(磁気共鳴血管造影法)

磁力

X線

CT

Computed Tomography
(コンピュータ断層撮影法)

- 検査時間が長く(30分~1時間程度)、騒音が大きいため圧迫感を感じる場合も
- 骨が映らず、脳の血管などの描画が得意
- 磁石を使うのでペースメーカーなど金属製品をつけている人は受けられない
- 放射線を使用しない

- 検査時間が短くて済む(10分程度)ため、出血を伴う緊急時でも診断できる
- 骨などX線を吸収しやすい部分の描画が得意
- MRIに比べて騒音が小さく、圧迫感も少ない

「CT」「MRI」検査 画像診断を含む検査費用の目安(自己負担3割の場合)

- CT…6,000円程度～
- MRI…7,000円程度～

※より精密な診断が必要な場合は、医師の判断で造影剤を使用することがあります(追加費用は2,000円～4,000円程度)。

予習メモ